



## 眼科領域での画期的な治療法を開発を目指した研究協力体制構築

ナポリ（イタリア）、東京（日本）、2025年2月5日

**Ophyx** は、いくつかの重要かつ広範な眼病治療のアプローチに革命を起こすことを意図した新しいバイオテクノロジー企業である。**BIOVIIIx** と **TAGCyx** のコラボレーションから生まれた最先端のプロジェクトです。

**BIOVIIIx** 社（イタリア）の子会社でバイオベンチャー企業の **AnBition** 社と、日本の **TAGCyx** Biotechnologies 社とは基本合意書を締結し、両社の眼科の各プロジェクトを新たなパイプラインとし開発する新合弁会社を設立する意向を発表します。新会社の名称は **Ophyx** です。**Ophyx** 社の開発パイプラインの対象治療分野は、DED（ドライアイ）、AMD（加齢黄斑変性）、DR（糖尿病性網膜症）となります。これらの疾患分野において、**Ophyx** は、患者が積極的に治療に向かい、QOLを向上させ、現在の治療法に革命をもたらすことを目的とし、国際的な視野に立った野心的なプロジェクトである。

**Ophyx** は、新生血管性眼疾患治療のための初の経口療法を開発し、眼内注射のみに基づく既存の治療法を克服することを目指します。**BIOVIIIx** 社とその子会社 **AnBition** 社の創設者兼 CEO である Davide Rosiello 氏は、「今日まで、ほとんどの眼科的 AMD 治療には眼球内注射が用いられていますが、これは患者にとって侵襲的で負担の大きい処置です。私たちは、同じ治療効果を錠剤として得るようにすることによって、このパラダイムを根本的に変えたいと考えています。」

**TAGCyx** 社の古関千寿子社長兼 CEO は、「DED 分野における当社の研究開発戦略に加えて、眼科領域において革新的な新しい治療ソリューションを探索するというアプローチを共有する **AnBition** 社との提携を開始できることを嬉しく思います。これまで当社が開発してきた強力な抗インターフェロンガンマ（IFN- $\gamma$ ）拮抗活性を有する独自のファースト・イン・クラスの DNA アプタマーが、即効性のある DED 治療剤として開発され一人でも多くの患者さんを治療できることを願っています。」

DED だけでも世界で 3 億 4,400 万人以上が罹患しており、AMD は 2020 年の 1 億 9,000 万人から 2040 年には 2 億 8,000 万人に増加すると予想されていることを考えると、これらの技術革新の潜在的なインパクトは非常に大きい、と **AnBition** のリサーチマネージャーである Sandro De Falco と Menotti Ruvo は指摘している。また、糖尿病性網膜症も増加の一途をたどっている。今後 20 年間で糖尿病患者は 4 億 5000 万人から 6 億 5000 万人に増加し、7000



万人以上の患者がこの病気に関連した重度の視力障害を抱えることになると予想されている。

**Ophyx** は、複数プロジェクトのパイプラインを構築することでベンチャーキャピタルや投資家の成功確率を上げ、調達した資金により前臨床安全性試験を終了させ、さらには患者での臨床試験を開始するために必要な資金調達をする意向である。

**Ophyx** のアドバイザーは、国際投資銀行 **Locust Walk** ([hyamamoto@locustwalk.com](mailto:hyamamoto@locustwalk.com) ; +81 70 3322 2802) のマネージングディレクターである山本寛氏である。

2013年6月、Davide Rosiello によって設立された **BIOVIIIx** は、血液製剤の分野におけるパイオニア企業である。当初は大手製薬会社のパートナーとして設立、瞬く間にイタリア国内および国際市場での地位を確立した。

現在、**BIOVIIIx** 社は、買収と技術革新と国際化に焦点を当てた明確なビジョンにより、売上高と従業員の両面で拡大を続けており、すでに4件の世界特許を保有している。

### タグシクス・バイオ（株）

タグシクス・バイオは2007年に日本で設立された会社で、その株主には UTokyo Innovation Platform Co.、SMBC ベンチャーキャピタル株式会社などの著名なベンチャーキャピタルが名を連ねている。同社は、革新的な人工塩基対の独自技術に基づく DNA アプタマー創製のための「Xenoligo®」プラットフォームを保有している。DED の他、ハンナ型間質性膀胱炎、円形脱毛症、免疫介在性血小板減少性紫斑病 (iTTP)、妊娠高血圧腎症などの治療分野の研究にも積極的に取り組んでいる。